岐阜新聞　2017年10月27日(金)

「『戦争なんか大きらい！』絵描きたちのメッセージ展」が

岐阜地域版のトップで紹介されました。

平和の願い、絵で訴え

憲法9条改正反対絵本作家　マーサ21で展示

絵本作家たちが平和への祈りを込めて描いた絵画が並ぶ会場＝岐阜市正木中、マーサ21

著名な絵本作家たちが、憲法9条の改正反対をテーマに描いた絵画を展示する「『戦争なんか大きらい！』絵描きたちのメッセージ展」が26日、岐阜市正木中のマーサ21で始まった。29日まで。

11月3日に市内で開かれる「2017ぎふ平和のつどい」のプレイベントとして、実行委員会が主催。憲法9条の改正に反対する絵本作家でつくる「子どもの本・九条の会」のメンバーの作品を展示している。「王さまシリーズ」の絵を担当する和歌山静子さんや「あらしのよるに」の作者きむらゆういちさんらが、平和な家族の団らんや憲法9条の大切さを描いた約30点が並ぶ。

きむらさんの「美味(おい)しいバクダン」には、爆撃機がお菓子の爆弾を落とすという、子どもの空想が描かれ、武器を持たない平和な世界の実現を訴えている。実行委員会は「絵を見て、家族で平和について考えてもらいたい」と呼び掛けている。

（大賀由貴子）